

## 令和4年度産地創生事業採択計画の概要

### 持続可能で収益性の高い ぶどう経営による産地再興

出雲ぶどう産地再興協議会

- ヒートポンプの導入や堆肥施用など環境にやさしい農法等による炭素削減栽培方法を確立
- 収穫したぶどうは、炭素削減効果を見える化して消費者に訴求することで独自の販路を拡大
- 新規植栽し、収穫期まで栽培管理したハウス団地を整備し、新規就農者等へ有償譲渡

目標：契約取引1,500万円増、新規就農者 25名



ヒートポンプ



デラウェア加温栽培

### 畑地化の推進による 「かんしょ」産地の拡大

出雲地方かんしょ生産振興協議会（仮称）

- サツマイモ→タマネギ→キャベツの輪作体系を導入して畑地化を推進
- 面積拡大に必要な無病苗を市内で増産、安定供給体制を構築し、県外産から変更
- 増産したサツマイモは、買取価格が安定している市内加工事業者への契約取引を拡大

目標：販売額 4,400万円増、新規栽培 7法人



かんしょの機械定植



かんしょ（加工用）